

## 寄贈図書リスト

超・宇宙を解く—現代天文学演習, 福江 純・沢 武文,  
B5判並製, 294頁, 5,000円+税, 恒星社厚生閣

月の錯視, ヘレン・ロス, コーネリス・プラグ著,  
東山篤規訳, A5判, 376頁, 3,700円+税, 勁草  
書房

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

平成27年度国立天文台プロジェクト研究員  
(年俸制特任研究員)

英語版は<http://www.nao.ac.jp/en/about-naoj/recruit.html>をご参照ください (一部のプロジェクトのみ)。

## (共通事項)

1. 年俸制特任研究員 募集人員は個別事項に記載  
2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください。

複数のプロジェクトへの併願は可能ですが, 希望する順を書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は, プロジェクト間で重複しないように調整されます。

3. 募集分野は個別事項に記載  
4. 勤務時間の半分までは, 所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで, 所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。職務内容の詳細は個別事項に記載。

5. (1) 平成27年4月1日以降。  
(2) 原則として着任日より3年間ですが, 年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。ただし, 平成16年4月以降, すでに国

立天文台研究員として勤務した期間がある場合, 任期は通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任は, 個別事項に述べられている場合を除き, 審査のうえ, 1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で, 通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または平成27年3月31日までに取得見込みの者。

なお, 平成27年9月30日までに取得見込みの者は, その旨を記載のこと。

7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト (査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書, (6) 推薦書を頼む場合は, 推薦者の名前 (2名以内)。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。

8. 平成26年11月14日(金) 正午 (日本標準時) 必着 (個別事項に別の指定がある場合を除く)

9. (1) 提出先メールアドレスと (2) 問合せ先は個別事項に記載。

10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること。

11. 裁量労働制の常勤職員として月額給与30万円のほか, 通勤手当, 年間50万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。米国ハワイ州外よりハワイ観測所 (ハワイ州ヒロ市) に着任する場合, またはチリ共和国外よりチリ観測所 (サンチャゴ市) に着任する場合は, 在勤手当が支給されます。健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス, 退職金の支給はありません。科

学研究費助成事業への応募資格があります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokkyodo/>をご覧ください。

nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。

- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台水沢VLBI観測所所長事務取扱  
小林秀行  
Tel: 0422-34-3813  
e-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp

## (個別事項)

### ○野辺山宇宙電波観測所

1. 2名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
- 3, 4. 野辺山宇宙電波観測所の45 m電波望遠鏡に搭載する観測装置開発・運用またはチリ観測所のASTE望遠鏡に搭載する観測装置開発などを行いながら、自身の観測的または開発的研究を推進する若手研究者を求めます。観測所の業務については、特に45 m鏡の新観測システム(新世代の受信機、分光計、解析ソフト)の開発および運用の効率化が重点課題です。希望する業務があれば、関連するこれまでの開発研究の経験とともに研究計画書に記述してください。
9. (1) 応募書類、推薦書とも masao.saito@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。  
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2  
国立天文台野辺山宇宙電波観測所所長  
齋藤正雄  
Tel: 0267-98-4331  
e-mail: masao.saito@nao.ac.jp

### ○水沢VLBI観測所

1. 2名
2. (2) 東京都三鷹市または岩手県奥州市(採用後の研究・業務内容による)
- 3, 4. 水沢VLBI観測所では、VERAの運用とその観測に基づく研究を中心に、日本国内および東アジア地域の大学・研究機関等とも連携しつつ、銀河系構造、星形成領域、晩期型星、活動銀河中心核などの観測研究を進めています。今回募集する研究員には、VLBIを用いた観測天文学研究を推進していただくとともに、関連する装置の運用や性能評価試験、国内外のVLBIの連携強化や共同利用のサポートなどの業務を分担していただきます。また水沢VLBI観測所および電波天文学の将来計画策定にも積極的に加わる意欲のある人材を求めます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも hideyuki.kobayashi@

### ○太陽観測所

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 太陽観測所では、三鷹キャンパスにおいて太陽フレア望遠鏡をはじめとする観測装置群により太陽の活動と磁場の継続的な観測を行っており、それに基づいた太陽・太陽圏科学の研究を推進しています。研究員は自らのアイデアによる研究を推進する一方、装置運用、装置開発、データの解析と公開にも加わっていただきます。また地上太陽観測の将来計画の検討を行っており、積極的に加わる意欲のある人材を求めます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも jinji@solar.mtk.nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。  
(2) 問合せ先:  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台太陽観測所所長 花岡庸一郎  
Tel: 0422-34-3703  
e-mail: hanaoka@solar.mtk.nao.ac.jp

### ○天文シミュレーションプロジェクト

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
3. シミュレーション天文学および関連分野
4. ・天文シミュレーションプロジェクト共同利用計算機の運用業務  
・共同利用計算機利用者への対応  
・共同利用計算機利用に関する講習会の開催  
・次期計算機システムの調達作業  
また、当プロジェクトの共同利用計算機を利用して積極的に自分の研究を推進していただける方を求めます。
9. (1) jinji2014@cfca.nao.ac.jp  
応募書類、推薦書とも上記アドレスへメール添付で送付のこと。  
(2) 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト 伊藤孝士  
e-mail: jinji2014@cfca.nao.ac.jp  
Fax: 0422-34-3829  
(問い合わせを行う場合には「天文シミュレー

ションプロジェクト研究員応募の件」という旨を冒頭に明記すること.)

### ○ハワイ観測所

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市、ただし、ハワイ観測所(米国ハワイ州ヒロ市)への出張による業務も年に数回ありうる。
- 3, 4. ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を実施し、多様な天文学研究を進めるとともに、新装置の開発や将来計画の検討を進めています。本プロジェクトでは、すばる望遠鏡を用いた観測的研究を積極的に進める研究員を募集します。研究員には、自身の研究と並んですばるによる共同利用に関する観測所の業務を担当していただきます。その主な内容は、リモート観測の支援、すばるデータアーカイブの運用支援、すばる共同利用に関する統計情報の整備と広報活動、各種講習会やユーザーズミーティングの世話人等です。加えて、ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただくことを期待します。研究計画書には、自身の研究計画とともにこれらの業務に対する抱負や貢献の可能性も記述してください。
9. (1) 応募書類、評価書とも fellow2015apply@naoj.orgへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台ハワイ観測所 水本好彦  
Tel: 0422-34-3514  
e-mail: mizumoto.y@nao.ac.jp

### ○チリ観測所

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市(ただしチリ、欧州、北米、台湾等に出張の可能性があります)
- 3, 4. ALMAでは現在サイクル2科学運用が行われています。ALMAなどを用いた研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には勤務時間の50%を用いて、ALMA、またはチリ観測所が運用しているASTE望遠鏡、Mopra 22 m電波望遠鏡などを用いて自身の研究を推進していただきます。勤務時間の残りの50%を業務にあて、これらの望遠鏡の運用の支援(共同利用支援)、ALMAの科学評価データの解析(論文執筆を含む)、またはALMA、ASTEに関係する

開発(装置、ソフトウェア)、のうちの一つ以上を行っていただきます。

6. ALMAのデータ(アーカイブを含む)の解析経験があることが望ましい。
7. 応募書類は英文で書いてください。推薦者2名に締切日までに推薦書を送付するよう依頼してください。
9. (1) 応募書類、推薦書とも tetsuo.hasegawa@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募(または推薦書)」と明記してください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台チリ観測所 立松健一  
e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp

### ○SOLAR-C準備室

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. SOLAR-C準備室では、宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)と協力して、次期太陽観測衛星SOLAR-Cの実現を目指しています。以下の研究のいずれか(複数でも可)に積極的に参加する研究員を求めます。
- (1) 次期太陽観測衛星「SOLAR-C」(<http://www.nao.ac.jp/project/solar-c.html>)の実現に必要なとされる研究(想定される観測装置の開発研究のほか、得られる観測データから磁場を導出するための基礎研究、得られる磁場情報からコロナ磁場の推定を行う手法の開発、観測データを解釈するために必要とされる数値モデル構築などの理論的研究を含む)
- (2) 観測ロケット搭載のChromospheric Lyman-Alpha Spectro-Polarimeter (CLASP; <http://hinode.nao.ac.jp/KakenS/study-CLASP.shtml>)で取得される観測データを用いた研究(ロケットの打ち上げまでは、装置関連の開発研究を含む)  
また、「ひので科学プロジェクト」([http://hinode.nao.ac.jp/index\\_e.shtml](http://hinode.nao.ac.jp/index_e.shtml))との連携研究を進めるため、研究員には「ひので」の科学運用(観測)にも参加していただきます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも hirohisa.hara@nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 SOLAR-C準備室長 原 弘久  
Tel: 0422-34-3705

e-mail: hirohisa.hara@nao.ac.jp

## 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 宇宙物理学研究系  
(2) JAXA 相模原キャンパス
3. 光赤外線天文学
4. 宇宙科学研究所の宇宙物理学研究系では、宇宙空間からの観測を主な手段とする宇宙物理学の観測的研究を行っています。今回募集する教授としては、光赤外線天文学研究に深い学識と経験および実績を有し、SPICA衛星をはじめとする宇宙空間からの光赤外線天文学の将来計画を遂行する人材を求めます。広く光赤外線天文学コミュニティをとりまとめ、宇宙科学のさまざまな分野との連携を図りながら、将来計画を具体化し、それを実現する活動の中心となっていただけの方を求めます。さらに、当研究所の大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院生の教育・指導にも十分な能力のある方を求めます。またJAXA内の各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献できる意欲あふれる人材を求めます。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期  
(2) 任期なし。63歳定年制
6. 博士号を宇宙理学分野で取得していること
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リストと主要論文の別刷、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む）、(5) 光赤外線天文学の将来計画についてのビジョン、(6) 他薦の場合は推薦書2通、自薦の場合は本人について意見を述べることでの方2名の氏名と所属、連絡先（電話番号、電子メールアドレス）。
8. 2014年12月15日（月）必着
9. (1) 〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1  
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所科学推進部人事係  
Tel: 050-3362-5412  
(2) 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所  
宇宙物理学研究系研究主幹 堂谷忠靖  
Tel: 050-3362-5544  
e-mail: dotani.tadayasu@jaxa.jp
10. 封筒の表に「宇宙物理学研究系教授応募書類在中」と朱書きして、書留便にて郵送してください

い。応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

11. 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設特任助教

1. 特任助教・1名
2. (1) 神岡宇宙素粒子研究施設  
(2) 岐阜県飛騨市
- 3, 4. XMASS実験装置を運用し、ダークマター探索をおこなう。特にデータ収集系の安定な維持運転、及び改善のための開発に従事する。同実験の将来計画にも参画する。
5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) 雇用は年度ごとに更新し、任期は原則として5年間とします。
6. 雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。性別・国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。
7. 以下(1)から(5)までの書類をEメールに添付で提出してください。(6)の推薦書又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。  
(1) 履歴書（市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと）、  
(2) 研究歴（A4版で3ページ以内）、  
(3) 業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、及び主要論文（3編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。  
(4) 着任可能時期  
(5) 着任後の研究計画（A4版で3ページ以内）  
(6) 推薦書又は意見書2通
8. 平成26年11月21日（金）17時必着
9. (1) e-mail: application@icrr.u-tokyo.ac.jp  
(2) 神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑雅行  
Tel: 0578-85-9603

e-mail: nakahata@icrr.u-tokyo.ac.jp

10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 待遇: 「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」(平成16年4月1日制定)に定める特任助教とします。同規程に基づき、給与は経歴により決定します。
- 選考: 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接によります。
- その他: 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

### 2015年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合(EACOA)は、研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関: 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所の連合体です。

EACOAは優秀な若手人材を対象として、2012年からEACOA Fellowshipを創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です(さらに2年(最長合計5年まで)延長が可能です)。自立した研究者として、さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。身分はEACOAの機関の博士研究員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関(一機関につき最短でも1年間以上滞在)で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による  
(2) 中国科学院国家天文台(紫金山天文台, 上海天文台を含む), 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれか。本人の希望による。
3. 天文学, 天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期  
(2) 3年(審査を経て, さらに2年(最長合計5

年まで)延長可能)

6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者, 国籍は問わない, 英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究計画, (4) 受入れ研究者の確認書, (5) 論文リスト
8. 2014年11月15日
9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>  
(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 naoj.global@gmail.com
10. 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれかにEACOA Fellowの受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。  
書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。以下のwebページを熟読の上、応募してください。  
<http://www.eacoa.net/program2015.php>
11. 月額US\$5,000の給与, 年間約US\$20,000の研究費, 旅費, 引越費用等が支払われます。審査にあたって追加書類の提出を求められることがあります。提出書類はお返ししません。採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2015年2月末までに直接応募者に通知されます。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

### 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学 専攻・助教

1. 2014年4月(第107巻第4号)
2. 河井洋輔(大阪大学大学院工学研究科 特任研究員)
3. 2014年9月1日

## 賞の推薦

### 山田科学振興財団 2015 年度研究援助候補 推薦依頼

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2015年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2015年1月27日(火)までに日本天文学会宛(jimu@asj.or.jp)に添付ファイルとして提出してください。

#### 1. 研究援助趣旨

- 1) 萌芽的・独創的研究
- 2) 新規研究グループで実施される研究
- 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- 4) 国際協力研究

#### 2. 援助対象期間

2015年9月～2017年3月

★2015年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は下記ホームページからダウンロードして下さい。  
山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

## 研究会・集会案内

### 市民講座 物理と宇宙 第2回

名称: 市民講座 物理と宇宙 第2回

主催: 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻  
京都大学基礎物理学研究所

○内容: 市民の人々に物理学や宇宙物理学の最新の研究成果を発信し、その最先端をわかりやすく説明する。また、双方向の議論も行う。2003-2007年度21世紀COEによる市民講座、2008-2012年度グローバルCOEによる市民講座と10年間にわたって開催してきたが、昨年度から新たに市民講座「物理と宇宙」と銘打って開催する。

○日時: 2014年11月29日(土) 13:00-17:30

○場所: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

○対象: 中高生以上

○応募方法: Web, e-mail, 往復ハガキ

○宛先: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科物理学教室内  
市民講座あて  
e-mail: shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp  
URL: [http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/Public\\_Lecture/index.html](http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/Public_Lecture/index.html)

○募集人員: 500名

○講演:

大西 明 (京都大学基礎物理学研究所)

「中性子星を支える力」

高橋義朗 (京都大学理学部物理学第一教室)

「冷えた原子でつくる新しい物質の状態」

前田啓一 (京都大学理学部宇宙物理学教室)

「元素の起源を探る」

○実行委員: 國友 浩, 佐々木貴教, 前野悦輝,  
鶴 剛 (委員長)

## 会務案内

### 非会員による日本天文学会での講演に関して (お知らせ)

日本天文学会では非会員による年会講演を原則1回までに制限することとなりました。これは近年の非会員による講演数の増大により、学会の収支がいびつになっていることや、会員の発表の場としての年会の意義が損なわれかねない事に対応したものです。この制限は2014年秋季年会中の理事会で審議、採決され、また全体集会でも周知を行いました。制限は2015年春季年会(大阪大学)より適用されますので、2015年春季年会で発表された非会員の方は、次回以降の年会での講演は入会して会員として行う必要があります。また、非会員の講演申込者の方には、講演登録前に別途事前登録を行っていただく必要があります。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

会員の皆様には、上内容を周囲の非会員の方々に周知いただくとともに、講演をよく行っていただけそうな方には入会を勧めていただきますよう、お願い申し上げます。

中村文隆(庶務理事), 熊谷紫麻見(会計理事),  
宮田隆志(年会理事)

公益社団法人日本天文学会へ2014年5月20日-8月31日に入会承認された方、移籍された方、退会された方をお知らせします。

### 正会員入会 (43名)

松本貴雄	大阪府立大・大学院理 (在学)	彭之翰	千葉大・大学院理 (在学)
栗田真	東京工業大・大学院理 (在学)	山崎廣樹	東京大・大学院理 (在学)
橘優太郎	東京工業大・大学院理工 (在学)	Antolin Patrick	国立天文台
吉井健敏	東京工業大・大学院理工 (在学)	濱畑秀峰	鹿児島大・大学院理工 (在学)
小林将人	名古屋大・大学院理 (在学)	市川あき江	愛媛大・大学院理工 (在学)
小木美奈子	岡山理科大・大学院総合情報 (在学)	中道蓮	名古屋大・大学院理 (在学)
大場崇義	総研大/JAXA・宇宙科学研究所 (在学)	上赤翔也	東京大・大学院理 (在学)
石橋遥子	埼玉大・大学院教育 (在学)	Gabor Orosz	鹿児島大・大学院理工 (在学)
山中郷史	東北大・大学院理 (在学)	Ross Alexander Burns	鹿児島大・大学院理工 (在学)
大塚拓也	東北大・大学院理 (在学)	朝倉健	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
山岸光義	名古屋大・大学院理	村川幸史	大阪産業大・教養
畠山拓也	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)	高田裕行	国立天文台
秦野義子	東京学芸大・大学院教育 (在学)	古沢秀明	理化学研究所・情報基盤センター
米谷夏樹	東京学芸大・大学院教育 (在学)	山田淑乃	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
杉村和幸	東北大・大学院理	田中伊織	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
切通僚介	大阪府立大・大学院理 (在学)	小谷朋美	和歌山大・宇宙教育研究所
三舛慧人	九州大・大学院理 (在学)	兵頭龍樹	神戸大・大学院理 (在学)
吉田和輝	金沢大・大学院自然科学 (在学)	石徹白晃治	東北大・ニュートリノ科学研究センター
鳥屋あすか	金沢大・大学院自然科学 (在学)	小林和貴	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)
一政遼太郎	九州大・大学院理 (在学)	大野良人	東北大・大学院理 (在学)
種倉平晃	大阪府立大・大学院理 (在学)	千秋元	東京大・大学院理 (在学)
中村鉄平	九州大・大学院理 (在学)		

### 準会員入会 (20名)

矢野和希	岡山大・大学院自然科学 (在学)	古市拓真	明星大・理工 (在学)
松本侑士	国立天文台	兼崎昇	
小谷和己		木内建太	京都大・基礎物理学研究所
花上拓海	東北大・大学院理 (在学)	磯貝桂介	京都大・大学院理 (在学)
國久真有	神戸芸術工科大・大学院芸術工学 (在学)	枝廣育実	広島大・大学院理
神田優花	広島大・大学院理 (在学)	安達勇一	
中岡竜也	広島大・大学院理 (在学)	金子静夫	
白川裕章	広島大・大学院理 (在学)	林昌三	共同通信社
武井良司	上田情報ビジネス専門学校	松山隼	静岡大学教育学部付属浜松中学 (在学)
遠藤光	Delft University of Technology	秋本直輝	山口県立岩国高校 (在学)

### 賛助会員入会 (1社)

沖電線株式会社 神奈川県川崎市

### 正会員退会 (1名)

箕輪敏行

### 移籍 [準→正] (1名)

佐々木亨 東京理科大・大学院理 (在学)

### 準会員退会 (1名)

乗本祐慈

## 天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

### ■ログイン法

login: geppou    passwd: toukou

### ■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまづ必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

### ■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までメールでご投稿ください。

### ■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は

[yousuke.utsumi@nao.ac.jp](mailto:yousuke.utsumi@nao.ac.jp)まで、

またその他のご質問は[toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)までお願いします。

(天文月報編集長)

## 天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu\_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

### 訂 正

天文月報2014年10月号(第107巻第10号)において、天球儀の目次と記事にタイトルの誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正)「超新星2013gvの発見」

誤)「超新星23013gvの発見」

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成26年10月20日    発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内    公益社団法人 日本天文学会

印刷発行    印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8    株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)    発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内    公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報)    Fax: 0422-31-5487    振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/>    月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2014年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)